

## 平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ  
 コード番号 2180 U R L <http://www.ssu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悅子  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 (氏名) 相田 俊充 T E L 03-6894-3233  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

### 1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績 (平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	9,667	△5.8	165	△71.7	199	△69.0	72	△83.0
25年6月期第3四半期	10,259	35.0	582	66.3	645	73.2	423	60.6

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 35百万円 (△92.4%) 25年6月期第3四半期 465百万円 (168.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 錢	円 錢
26年6月期第3四半期	20.41	19.73	
25年6月期第3四半期	123.31	117.93	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	5,780	1,964	32.1
25年6月期	4,751	1,949	38.4

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 1,856百万円 25年6月期 1,822百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年6月期	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 —	円 錢 20.00	円 錢 20.00
26年6月期	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 —	円 錢 —	円 錢 —
26年6月期(予想)	円 錢 —	円 錢 —	円 錢 —	円 錢 20.00	円 錢 20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年6月期の連結業績予想 (平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢
通期	11,974	△8.0	84	△80.8	133	△76.0	14	△95.8	4.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社 (社名) 、除外 1社 (社名) WIST INTERNATIONAL LTD  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧下さい。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： 無 |
| ④ 修正再表示              | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期3Q	3,542,400株	25年6月期	3,534,400株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	74株	25年6月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期3Q	3,538,234株	25年6月期3Q	3,436,058株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

「創造型P R商社」への事業構造転換を掲げた中期経営計画の最終年度にあたる今期、当社グループは更なる進化を目指し、新たな事業創造に取り組んでおります。パンケーキブームの先駆けとなった人気のカジュアルダイニング「bills」の海外進出第一号店をハワイに出店したのをはじめ、「日本のおもてなしを世界のおもてなしへ」をスローガンに展開していく「OMOTENASHI NIPPON」プロジェクトの立ち上げや、世界10か国14万人以上が参加してきた音楽イベント「ロックコーピス」の日本開催をサポートするなど、これまで培ってきた取り組みが続々と発表され、大きな話題を獲得するに至っています。

当第3四半期連結累計期間は、こうした新規事業開発を進めると同時に、クライアントワークを主体的に行う既存の受託ビジネスにおいても、得意顧客との継続的な取引や新たな大型案件の受注が好調に推移しております。

当第3四半期の連結業績は売上高9,667百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益165百万円（同71.7%減）、経常利益199百万円（同69.0%減）、四半期純利益は72百万円（同83.0%減）の結果となり、減収要因としては、第2四半期連結会計期間中に出資持分譲渡によってWIST INTERNATIONAL LIMITED社（以下WIST社）を連結子会社から除外したことが挙げられます。また、減益要因は主に2点あり、WIST社における損失を取り込んでいること、及び、平成26年3月に出店した「bills」ハワイ店舗の開業費用の計上が挙げられます。

業績低下を招いたWIST社に対してはすでに迅速な対応が完了しており、当社グループとして定常的に利益を生みだすことの出来る事業体制を再構築しつつあります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①コミュニケーション事業

当社グループの中核と位置付けているPRやプロモーションなどのコミュニケーション事業は好調さを維持。レギュラークライアントである大手CVSや人気飲料、チョコレートブランドなどの大型キャンペーンやPRイベントの継続的受注と同時に、コンペティション参加による新たな取引先の開拓・受注に成功しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,595百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

#### ②スポーツ事業

日本におけるスポーツビジネス発展の一翼を担ってきた当社のスポーツ事業は、従来の肖像権ビジネスだけに依存しない、スポーツがもつ更なる可能性を引き出すためのビジネスモデル変革にいち早く取り組んでおります。オリンピックやワールドカップなどの大型イベントが増え、関連案件の受注も着実に推移しておりますが、東京五輪を見据えた中長期プロジェクトへのリソース投下等の影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、685百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

#### ③開発事業

アジアのエンターテインメントに関して新たなビジネスを創出すべく前連結会計年度に設立した株式会社クムナムエンターテインメントは、アジアを中心とした国内外著名人のキャスティングを軸に民放テレビ局の番組制作やCM制作など幅広い業務を受託するなど、飛躍的な成長を遂げ、当社グループが続々と送り出す新規事業のよき成功事例となっております。クムナム社を中心とした開発事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,421百万円（前年同期比330.0%増）となりました。

#### ④S P・MD事業

購買接点における優位性の発揮を主眼にしたマーケティングソリューションを提供するSP・MD事業では、大手外食チェーンや飲料メーカーの販促グッズや大手玩具メーカーのOEM製造といったレギュラークライアントからの受注が堅調に推移しております。平成25年11月に出資持分を譲渡したWIST社を連結子会社から除外した影響による売上減少にも、新たな調達先の開拓で利益率向上を図るなど、収益力の改善に全社を挙げて取り組んでおり、短期間での集中した体質変革に挑んでいます。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,281百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

#### ⑤bills事業

世界一の朝食としての高いブランドロイヤルティを提供し、国内四店舗で圧倒的といえる人気を獲得している人気のカジュアルダイニング「bills」の当社グループによる海外進出第一号店となるハワイ店を、平成26年3月にオープン。国内外で今まで以上に大きな話題を集めております。今後オープン予定の韓国店など、厳選した出店計画を進めつつ、高い収益力の安定的拡大に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,684百万円（前年同期比2.0%増）となりました。なお、ハワイ店舗の開業費用、及び、韓国店舗開業準備に要する費用の一部等、積極的な海外展開に掛かる費用を当該期間に計上し収益拡大に向けた投資が先行しておりますが、こ

これまでの成功に留まることなく今後もbills事業の更なる成長を目指し挑戦を続けてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、5,780百万円（前連結会計年度末より1,029百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が3,639百万円（同685百万円増）、固定資産が2,141百万円（同343百万円増）であります。また、負債合計は、3,815百万円（同1,014百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が3,009百万円（同800百万円増）、固定負債が806百万円（同213百万円増）であります。純資産合計は、1,964百万円（同15百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想の修正につきましては、平成26年2月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。今後、当該連結業績予想に修正のある場合には速やかに開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、WIST INTERNATIONAL LIMITEDの出資持分を譲渡したため、連結の範囲より除外しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、韓国に当社の100%子会社としてSUNNY SIDE UP KOREA INCを新たに設立したため連結の範囲に含め、WIST INTERNATIONAL LIMITEDの出資持分の譲渡に伴い同社の100%子会社であるWIST PLASTIC TOYS CO, LTDを連結の範囲より除外しております。

また、当第3四半期連結累計期間において当社の子会社である株式会社ワイズインテグレーションが共同出資したS P A R K 株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	875, 061	1, 038, 774
受取手形及び売掛金	1, 497, 323	2, 030, 430
商品及び製品	36, 841	58, 100
未成業務支出金	192, 266	187, 472
原材料及び貯蔵品	10, 735	15, 960
その他	341, 860	310, 524
貸倒引当金	△803	△2, 195
流動資産合計	2, 953, 286	3, 639, 069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	440, 348	874, 283
土地	520, 818	520, 818
その他（純額）	409, 169	256, 787
有形固定資産合計	1, 370, 336	1, 651, 890
無形固定資産		
のれん	11, 873	24, 477
その他	16, 625	10, 857
無形固定資産合計	28, 499	35, 335
投資その他の資産		
その他	428, 456	484, 744
貸倒引当金	△29, 504	△30, 300
投資その他の資産合計	398, 952	454, 443
固定資産合計	1, 797, 788	2, 141, 669
資産合計	4, 751, 074	5, 780, 738
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	759, 647	1, 125, 028
短期借入金	587, 247	1, 228, 582
1年内返済予定の長期借入金	195, 209	270, 291
未払法人税等	126, 239	129, 362
賞与引当金	—	3, 958
役員賞与引当金	11, 000	—
資産除去債務	4, 580	—
その他	525, 741	252, 703
流動負債合計	2, 209, 665	3, 009, 926
固定負債		
長期借入金	390, 648	349, 253
資産除去債務	49, 344	50, 083
その他	152, 131	406, 730
固定負債合計	592, 124	806, 067
負債合計	2, 801, 790	3, 815, 994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451, 993	453, 245
資本剰余金	512, 593	513, 845
利益剰余金	835, 195	880, 855
自己株式	—	△106
株主資本合計	1, 799, 782	1, 847, 839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 039	2, 934
為替換算調整勘定	21, 102	5, 523
その他の包括利益累計額合計	23, 141	8, 457
少数株主持分	126, 360	108, 446
純資産合計	1, 949, 284	1, 964, 743
負債純資産合計	4, 751, 074	5, 780, 738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	10,259,140	9,667,407
売上原価	8,814,075	8,440,374
売上総利益	1,445,064	1,227,033
販売費及び一般管理費	862,256	1,061,988
営業利益	582,807	165,044
営業外収益		
受取利息	115	292
受取配当金	129	265
持分法による投資利益	116	—
為替差益	58,715	24,735
受取家賃	28,191	28,963
その他	9,953	6,271
営業外収益合計	97,222	60,528
営業外費用		
支払利息	11,813	10,221
持分法による投資損失	—	1,675
賃貸費用	13,520	12,809
その他	9,578	1,108
営業外費用合計	34,912	25,814
経常利益	645,117	199,758
特別損失		
固定資産除却損	54	—
固定資産売却損	14	—
減損損失	32,009	10,593
関係会社出資金譲渡損	—	31,846
持分変動損失	—	2,797
特別損失合計	32,078	45,237
税金等調整前四半期純利益	613,038	154,520
法人税等	167,452	177,982
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	445,586	△23,461
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21,870	△95,703
四半期純利益	423,715	72,241

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	445,586	△23,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	703	895
為替換算調整勘定	19,700	△28,357
持分変動差額	—	86,483
その他の包括利益合計	20,403	59,020
四半期包括利益	465,990	35,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433,717	100,972
少数株主に係る四半期包括利益	32,272	△65,413

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年7月1日 至平成25年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーション事業	スポーツ事業	開発事業	S P・MD事業	bills事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,557,904	802,876	330,584	4,916,529	1,651,245	10,259,140	—	10,259,140
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	251	—	376	150,180	1,810	152,619	△152,619	—
計	2,558,156	802,876	330,960	5,066,710	1,653,055	10,411,759	△152,619	10,259,140
セグメント利益 又は損失(△)	472,235	94,181	△1,885	174,642	137,349	876,523	△293,715	582,807

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

前第3四半期連結累計期間	
セグメント間取引消去	△1,044
全社費用(※)	△292,671
合計	△293,715

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「コミュニケーション事業」セグメントにおいて、東京ソラマチに出店しておりました、「ブースター・カフェ・レント・ア・バイシクル・バイ・スコット」を平成25年6月までに閉店することいたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては32,009千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年7月1日 至平成26年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーション事業	スポーツ事業	開発事業	S P・MD事業	bills事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,595,452	685,099	1,421,633	3,281,206	1,684,016	9,667,407	—	9,667,407
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,406	1,300	—	107,242	1,525	112,474	△112,474	—
計	2,597,859	686,399	1,421,633	3,388,449	1,685,541	9,779,882	△112,474	9,667,407
セグメント利益 又は損失 (△)	428,950	93,094	103,537	△61,304	△44,010	520,266	△355,221	165,044

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間	
セグメント間取引消去	19,458
全社費用 (※)	△374,680
合計	△355,221

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

S P・MD事業において、WIST INTERNATIONAL LIMITEDにおける事業環境及び業績等を勘案して回収可能額を評価した結果、第1四半期連結会計期間末におけるのれん未償却残高の全額を減損損失(10,593千円)として特別損失に計上いたしました。

また、bills事業において、従来からの連結子会社であるFLYPAN HAWAII INC.の株式を当第3四半期連結会計期間において全株式取得したことにより、のれんが23,444千円発生いたしました。

なお、FLYPAN HAWAII INC.は、平成26年3月19日付でSSU HAWAII INC.に社名を変更しております。